

災害医療センター

■ スタッフ

センター長 武田 多一

■ 部門の特色

災害医療センターは、三重大学病院における防火防災管理の中心を担っています。

災害発生時において専門家として活動できる人材を養成するとともに、医療機関・消防・救急・自治体等の各レベルでの災害対策について研究や教育を行い、卒前卒後災害医学教育・災害医療体制構築・医療従事者災害医療活動調整等を実施しています。

実際に発生した災害では、国内外で災害保健医療支援活動を展開しています。

■ 活動実績

1. 三重大学病院での活動

- ・三重大学医学部附属病院防火防災管理
- ・三重大学医学部附属病院災害対応マニュアル
およびアクションカード作成
- ・三重大学附属病院病無継続計画(BCP)作成
- ・三重大学医学部附属病院院内防災訓練
- ・三重大学医学部における災害医療教育
- ・三重大学病院内の災害医療研修会・勉強会
- ・英国 HMIMMS 研修
- ・三重大学防災減災研究センター災害医療部門
- ・三重県三重大学みえ防災減災センター

2. 国内外での活動

- ・三重県津市総合防災訓練
- ・三重県総合防災訓練
- ・三重県災害医療コーディネーター研修
- ・国立大学附属病院中部ブロック
災害対策相互訪問事業、
- ・内閣府 大規模地震時医療活動訓練
- ・日本 DMAT 研修
- ・日本 JICA 国際緊急援助隊医療チーム研修
- ・英国 MIMMS 研修
- ・英国 HMIMMS 研修
- ・ニュージーランド 極地寒冷医学研修
- ・ベルギー 災害人道支援ロジスティクス研修
- ・英国 開発途上国での麻酔研修

3. 被災地での保健医療支援

- ・平成 28 年(2016 年)熊本地震 被災地支援
(三重県庁 DMAT 調整本部、三重県医療救護班)
(HuMA 阿蘇市保健医療支援)

■ 今後の展望

三重大学病院の防火防災対策を充実させ強化します。また、災害時の保健医療体制構築を通じ三重県の防災減災体制を支援します。そして、実際に災害が発生した場合は、保健医療支援を迅速に開始すると共に、長期間に亘る地域の回復復興を継続的に支援します。